



アサルトエンジンシナリオ⑦ 『緑の魔宮』

[2012/8/30:改訂版]

シナリオ:望月みちる / イラスト:睦屋半風

■本シナリオについて

- ・プレイヤーの人数:4~5人
- ・キャラクターレベル:2
- ・所要時間:約 4 時間
- ・使用キャラクター:2レベルのキャラクターを作成
(初期所持金に+400 シルバーして、アイテムを購入してください)

■あらすじ

学園の授業に関連して、PC たちはアカデミア管区内の都市クリマタリアへ行き、中央植物園の温室内で採れるマドラの実から薬を精製するようにマリアベルから言われる。

だが、PC たちがクリマタリアに到着した時、中央植物園の温室ではクリーチャーが出現する事件が起きていた。

植物園園長のアグリオ・ヴェルフォレから事件の解決を依頼された PC たちは、中央から現れるクリーチャーを閉じこめる為にとツタを渡され、植物園研究班主任であるジュディ・エフォールと共に温室へ行く。

温室の設備や植物を傷つけないように注意を払いながら逃げ遅れた作業員を助け、ツタを植えて温室中央を周囲から閉ざしていく。

しかし、温室中央へ行こうとしたその時、ジュディが植えたツタによって中央へと連れ去られてしまう。

それを追いかけて温室中央に踏み込んだ PC たちが見たのは、始祖ジェネシスのひとり「翠緑のネフリ」に寄り添われた園長の姿だった。

植物を愛する心をネフリにつけ込まれた園長は、モルフになっていたのだった。

園長を最終的に変化させたあとネフリは去り、木と融合した園長との戦闘の末にこれを倒して PC たちは囚われていたジュディを救出する。

ジュディは園長がモルフとして倒されたことを悲しみながらも、植物園を救ってくれた PC に感謝を伝えた。

PC たちはジュディと共にマドラの実の収穫と精製を終え、学園に戻るのだった。

■舞台・NPC 解説

・水と緑の町「クリマタリア」(「ワールドガイド」参照)

アカデミアの北方にある町です。周囲は湖と深い森に囲まれ、湖はアカデミアの水源になっています。大きな植物園があり、その温室で栽培されているマドラの実は優秀な回復薬の原料として有名です。

・マリアベル・フィッシャー(「ワールドガイド」参照)

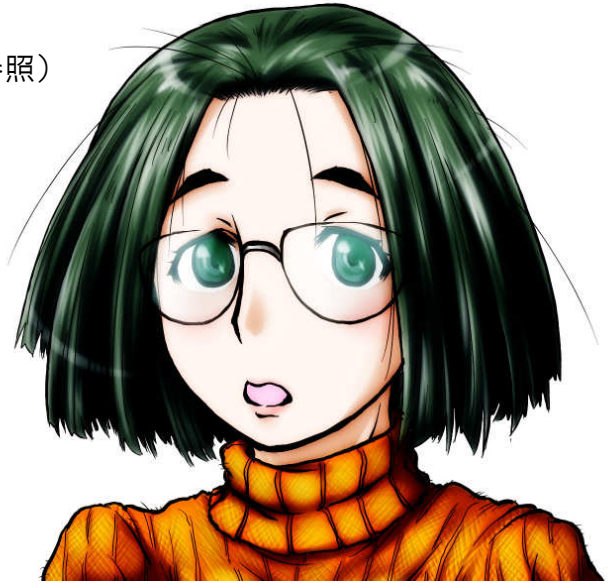
・ジュディ・エフォール (女/21 歳)

「クリマタリア中央植物園によろこそ！」

クリマタリア中央植物園の研究班主任博士。

おどおどしたドジっ娘気質だが、植物への情熱と研究者としての能力は一流。

次の植物園園長は彼女だと目されているほどの才女。



・アグリオ・ヴェルフォレ (男/50 歳)

「私は植物たちを愛している」

クリマタリア中央植物園の園長。

植物の品種改良を手がける研究者で、その業績は誰もが認めるもの。植物利用の研究者としても高名で、マドラの実の精製、エキス抽出なども行っている。



・翠緑のネフリ

「あら、貴方良い体をしていらっしゃるのね。わたくしの可愛いポーチュラカの養分になりませんか？」

「貴方に植物の世界の深奥を見せてさしあげましょう。きっと気に入られますよ」

儂々としたおやかな女性の姿をしたジェネシス。

深い緑色の髪を長く伸ばした白皙の美女。
(ただし、長い衣の下に隠されているが、腰から下は木質の肌をしている)

植物をこよなく愛し、植物に知性と力を与える研究を熱心に行っている。

いずれは人間に取って代わるものとしての植物知性体を生み出そうとしている、との噂もある。

彼女が作り出すモルフは、植物と融合するか、植物のために尽くす生き物となるか、どちらかである。(最低でも、体の一部分は緑になるのが特徴)



■シナリオの見方

・概要

その場所で行われるおおまか内容や、プレイヤーに伝えるべきことなどが書かれています。GMはここを参照し、以下の二つの項目をPCの状況や性格などに合わせてうまく調整してください。

・情景描写

冒頭で、GMが読み上げる内容が書かれています。基本的にはGMはそのまま読めば良いようになっていますが、状況に応じて、内容を修正してもかまいません。

・イベント

その場面で起こるイベントが書かれています。情景描写を読み終えた後、頃合を見て起こしてください。

イベントは、必ず起こるものと、PCの判定の成否によって起こるものに分かれています。(判定が必要な場合は、その旨が書かれています)これもPCに合わせてGMが修正してもかまいません。

0. 始まりの夜

【概要】

PC たちが登場するオープニング前の、園長のアグリオがモルフとなるシーンですが、ここでは一切園長の描写をしないでください。

【情景描写】

小川のせせらぎだけが聞こえる静かな夜。
水の上に飛び交う小さな光を、小さなノートとペンを手に見ているものがいた。
穏やかで幻想的な風景の中に、不意に影が差す。

謎の声「ねえ、貴方。植物は、お好き？」

声と共に、甘い香りが周囲を包む。
蛍を見ていた人物は、香りに魅入られたように頷く。

謎の声「そう。あなたも植物たちを愛していらっしゃるのね。わたくしと同じように——」
「ねえ、貴方。わたくしと二人で、素晴らしい研究をなさらないこと？」

顔を上げた人物の前に、深い緑色の髪をした女性が立っている。
差し出された白い手の平に、緑色に輝く一粒の種が載っていた。

謎の声「植物は、もっと素晴らしいものに進化できるわ。そう。貴方が望んでいらっしゃるように、もっと偉大で、美しいものに」

「知性を得た植物たちと会話もできるわ。彼らと直接交流できるの。貴方が、それを望むのなら」

「さあ。これをお飲みになって。貴方とわたくしとで、植物たちの新しい扉を開きましょう」

差し出された種をつまみ、言われるままに飲み下す。
たちまち体が震えだし、ペンとノートを取り落として頭を抱える。
その様子を、女性は美しい微笑みをたたえて見守っていた。

【イベント】

特になし

1. 教室(オープニング)

【概要】

PC たちは課題の説明を受け、準備を整えて出発します。
ここで(PC 同士の)ヘリックスの確認などをしてください。

【情景描写】

放課後、教室に残されていた PC たちのところへ、担任のマリアベルがやってくる。
切り出されたのは、授業で出された課題についてだった。

マリアベル「今日の授業で学んだ薬草学についてですが、みなさんには実地での課題を行ってもらいます」

「クリマタリア中央植物園の大温室で栽培されているマドラの実を採取して、精製したものを持ち帰ってくること。いいですね」

【イベント】

マリアベルから、クリマタリアとマドラの実に関する説明をしてください。(クリマタリアについては、「舞台・NPC 解説」の項目を参照)

マドラとは非常に珍しい樹木で、アカデミアの近隣ではクリマタリアでしか栽培されていません。この木の实には強い回復効果のある成分が含まれており、すぐに加工することで、ライフストリーム(別紙「アイテム一覧」参照)などの薬剤の原料となっています。

そこで、アサルトエンジンでは毎年新入生を派遣して実習ついでにマドラの実を収穫させ、精製したものを持ち帰らせるというのが恒例になっています。

アカデミアからクリマタリアまでは馬車で 1 日ほどです。馬車はアサルトエンジンから貸し出されます。

PC たちの内、最低ひとりにマリアベルとヘリックスを結ばせたあと、出発を促してください。

マリアベル「中央植物園園長のアグリオさんには既に連絡してあります。向こうに付いたらまず挨拶すること。いいですね？ それでは、行ってきなさい」

2. クリマタリア

【概要】

クリマタリアへ向かった PC たちは、中央植物園の研究班主任博士であるジュディ・エフォールに出迎えられ、中央植物園で問題が発生したことを知らされます。

【情景描写】

PC たちはアカデミアから続く街道を、馬車に乗って北に向かった。

クリマタリアへ近づくにつれて風景に緑が増え、緩やかな斜面のあちらこちらに葡萄を初めとする果樹園が広がり始める。

そんな穏やかな風景の中を進んでいくと、やがて豊かな緑の山々を背にした街の城壁が見えてきた。

ツタに覆われて緑にとけ込んだ城壁を傍らの湖から引かれた水路が取り巻き、まるで街全体が水の上に浮いているようにも見える。

馬車が街の門に近づいていくと、門の側で誰かが待っているのが見えた。

【イベント】

PC たちの到着を待っていたのは、クリマタリア中央植物園の研究班主任博士、ジュディ・エフォールです。

アサルトエンジンのマークがついた馬車を見ると、駆け寄ってきます。

ジュディ「ああっ。皆さんがたがハイランダーの方々ですか？」

「お待ちしておりました。実は今朝から植物園が大変で……」

「あっ、申し遅れました。私、中央植物園の研究班主任をやっているジュディ・エフォールって言います……」

PC たちが『大変なこと』について質問すると、「こんな場所で話すようなことでもないので……」と、植物園内の事務室へと案内します。

3. 大温室管理棟内事務室

【概要】

クリマタリア中央植物園の大温室が、クリーチャーに占拠されたことについて、園長やジュディから話を聞きます。

クリーチャー撃退の依頼を受けた後、ジュディと共に温室へ向かいます。

【情景描写】

街の北側に広がる広大な植物園では、主に植物の保全と、品種改良を目的とする研究が行われている。

さまざまな木々や野菜などが栽培されている間の道を歩いていくと、ガラス張りの巨大な建物が見えてきた。

ジュディは、その建物の手前にある建物へと PC たちを案内する。

建物内にある事務室では、白いひげをたくわえた人物がハイランダーである PC たちの到着を待っていた。

【イベント】

事務室には園長のアグリオ・ヴェルフォレが待っています。

アグリオは PC たちが来ると、挨拶もそこそこに植物園の現状を話し始めます。

アグリオ「君たちが今年のマドラ採取隊かね。」

「早速採取に取りかかろう、と言いたところだが、今朝から重大な問題が発生した。」

「大温室に突如としてクリーチャーが現れ、温室の一角を占拠したようだ。君たちにはこれを排除してもらいたい」

「占拠されているのは温室の中央部分だ。網で囲って閉じこめているが長くは持たない。すぐに向かってもらいたい」

「もちろん、正式な依頼として君たちをお願いする。報酬も用意しよう」

アグリオは、PC たちをすぐに温室中央へ向かわせようとはしますが、一緒にいるジュディが口を出します。

ジュディ「あの……、作業員の方々が何人か温室に取り残されているみたいです。皆さんを助けないと……」

アグリオ「むむ。しかし中央以外で戦闘などされると、温室の植物たちに被害が出てしまうではないか」

アグリオは渋っていますが、ジュディや PC たちに説得されると、しばらく考えた後に条件をひとつ付けます。それは、中央のクリーチャーがこれ以上外へ出ないように、アグリオが最近、偶然開発に成功したツタ植物(※)と成長促進剤を使って中央部を囲っている網の強化を行うこと。

成長促進剤を使用すると、ツタが網に絡みつくように成長し、網全体の強度を上げるのです。(※本当はこのツタは、アグリオが「翠緑のネフリ」からが渡されたものですが、当然その事は言いません)

ジュディ「でも、あれはまだ成分が完全に解明できていないもので……」

アグリオ「非常時だ。仕方あるまい。君がこれを使いたまえ」

4本のツタ植物の苗と成長促進剤はジュディに渡され、ジュディは PC たちと同行することになります。

もし PC たちがツタの使用を嫌がるようなら、「周囲の探索や中央で戦闘をしている間に、クリーチャーが中央から外へ出て、被害が拡大するのを防ぐため」と説明してください。

なお今回の依頼は、アサルトエンジンを通さない形ではありますが、ハイランダー憲章(「ルールブック」参照)にある人命守護の精神に基づいて、独自判断で依頼を受けることが認められます。

もし PC たちが判断に悩むようでしたら、テレパスを通じてマリABELから許可を出しましょう。

依頼の報酬は、ひとり 1000 シルバーです。

ただし、温室内の戦闘で温室を破壊したり貴重な植物を荒らしたりした場合、その中から修理代金を引かれます。(ここで温室内での戦闘ルールを PC に伝えてください)

温室内での戦闘ルール

・クリーチャーへの攻撃を行って対象が倒れた際、対象の残り HP を上回った分のダメージを、温室へのダメージとする。(例:残り HP が 10 のクリーチャーに攻撃して 30 点ダメージを与えた場合、対象の残り HP10 を上回った 20 点分のダメージが、温室へのダメージとなる)

・温室の HP は 150 であり、戦闘毎に回復はせず、ダメージは累積される。

・温室への累積ダメージが 50 点を上回った場合、1 ダメージにつき 10 シルバーの修理代金を請求されるので、最終的な報酬は[温室の残り HP]×10 シルバー (0~1000 シルバー)となります。

4-1. 大温室入り口

【概要】

大温室の地図が掲げてある部屋です。逃げ出してきた作業員がいます。

【情景描写】

八角形の建物にドーム状の屋根を掛けた大温室は、全てが鉄とガラスで作られていた。

空を映して輝くガラスの建物は美しく、温室そのものを見るために訪れる人も多い。

温室の入り口は全部で4箇所。ジュディは事務所を出てすぐの正面入り口へと PC たちを案内した。

温室の扉を抜けるとすぐ目の前に温室の地図が書いてある案内図があり、その横に疲れ切った様子の作業員がいる。

【イベント】

案内図を見ると、温室の部屋配置が判明します。(PC に地図を見せてください)

逃げ出してきた作業員からは、温室内部の話が聞けます。

作業員「温室の中央からクリーチャーが現れたらしい。急いで網で閉じこめたらしいけど、少しは他のエリアに行ったと思う」

「南エリアには、マドラの実が襲われないように網を掛けてくるって行った奴がいるが、まだ帰ってきていない」

「東エリアはハチの巣ができていて危険なので、現在立ち入り禁止になっている。除去業者を頼んだらしいけれども、来たかどうかは知らない」

「北エリアは密林を再現したエリアになっている。担当者がどうしているかはわからない」

「西エリアは水辺の植物のエリアになっている。自分はそこの担当で、クリーチャーが出たと聞いて逃げ出してきた」

「中央エリアは周囲四面を網で囲っているんで、今は入れない。でも網を切れれば入れると思う」

クリーチャーの正体について聞いても、自分は見えていないから解らないと言います。

中央エリアに入るには網を切るか外すかする必要がありますが、一旦網を外すと中のクリーチャーが外に散ってしまう可能性があるため、周辺から調べるようにとジュディは促します。

なお、現状では網が内側から破られた様子はないと作業員が教えてくれます。

4-2. 大温室南(南エリア)

【概要】

マドラの木が生えているエリアです。

マドラの木を守るために作業していた作業員がクリーチャーに襲われており、PC たちがこのエリアに入ると戦闘になります。(戦闘時は、温室へのダメージの処理も忘れずに行ってください)

【情景描写】

南の区画にはいるとすぐ、マドラの木が目についた。

緑の葉を茂らせ、オレンジ色の実をたわわに実らせた木は、半分ほどが網で覆われていた。

その網を掛ける作業をしていたらしい作業員が木の根本にへたりこみ、周囲には鳩ほどの大きさがあるハチが飛び交っていて、いまにも作業員に襲いかかろうとしている。

【イベント】

PC たちが近づく、声を上げるなどのアクションを取るとハチたちは新たな敵に気が付き、PC たちに襲いかかってきます。(PC たちが何もしないのならば、ジュディに PC たちへ「助けてあげてください」とお願いをさせてください)

いずれにしても、アサルトビー×6(前衛×3、後衛×3に配置)との戦闘になります。

戦闘後、襲われていた作業員から感謝の言葉と共にマドラの実を PC の人数個もらえます。

生のマドラの実はミカンのような爽やかな甘みがあり、食べると HP と MP がそれぞれ 3D6 点回復します。(ただし、その日の内に食べなければ回復効果は無くなります。また、戦闘中に食べることもできません)

ジュディも作業員と一緒に礼を言います。

作業員に話を聞くと、クリーチャーの襲撃から木と実を守ろうと網を掛けていたところ、ハチを連れた緑の髪の女性がやってきて、ハチたちにマドラの実を収穫するよう命じたということが聞けます。女性はその後、どこかへ去っていったようです。

PC たちが作業員と話したりマドラの実を食べたりしている間に、ジュディは中央区画とこの南エリアを隔てている網の前に、ツタの苗を植えて成長促進剤をかけます。するとツタはみるみる伸びて、南側の網一面を覆います。

4-3. 大温室東(東エリア)

【概要】

ハチの巣があり、除去業者の二人組が、除去の相談をしています。
除去の手伝いを行います、失敗するとハチ(アサルトビー)からの攻撃を受けます。

【情景描写】

南国の花が植えられた東エリアに入ると、植物園の作業員とは違う制服を着た二人組がいた。

二人は PC たちを見つけると、近づいて話しかけてくる。

害虫駆除業者「ここにはでっかいハチの巣があって危険だ。俺たちでもなかなか近づけない……ん？ ひょっとしてあんたたち、ハイランダーか？」

【イベント】

二人は、PC たちがハイランダーだと気付くと、作業を手伝ってくれるように頼みます。

二人組が除去しようとしているのは、木の上にできている一抱えほどもある巨大なハチの巣です。

二人を手伝うなら、PC の内、1 人が【体】出生値[や]、もう 1 人が【速】出生値[や]の一般判定をしてください。(難易度は[や](=「やや難しい」)ですので、成功率に-10%の修正がつきます)

二人とも成功すると、安全にハチの巣を除去することができます。

どちらか、あるいは両方の判定に失敗した場合、飛び出してきた4匹のアサルトビーの攻撃を受けます。(ダメージはそれぞれ2D6点で、防御点は有効です。射撃回避を試みる事はできますが、『リロール』『サクセス』以外は使用できません。攻撃は判定を行った2人に集中します)アサルトビーは PC たちを攻撃した後、すばやく巣に戻ります。

ハチの巣の除去は何度でも挑戦できますが、判定に失敗するたびに、アサルトビー4匹から攻撃を受けます。

無事に巨大ハチの巣が袋に入れられると、二人組は熱と煙で巣をいぶしたあと、後日アサルトエンジンに依頼して処分してもらおうと言い、PC たちに礼を言います。

ここでもジュディはツタの苗を植えます。

ジュディ「ハイランダーの方たちってなんでもできるんですね」

「さあ、ここも大丈夫です。次に行きましょう」

4-4. 大温室北(北エリア)

【概要】

密林状になっていて、植物のツルなどで奥へ行く道がふさがれています。

奥では逃げ遅れた作業員がハチに襲われており、戦闘になります。(温室へのダメージの処理も忘れずに行ってください)

【情景描写】

北エリアは、まるでジャングルそのものだった。密集した木々の間に植物のツタが絡まって、あちらこちらが通れなくなっている。

PC たちがこのエリアに足を踏み入れたその時、ジャングルの奥から「助けてくれ」という声と、銃声のような音が聞こえてくる。

ジュディ「だ、誰かが襲われているんでしょうか……」

ジュディが声のした方へ行こうとするが、その道もツタで塞がれていた。

【イベント】

銃声起きた場所へ駆けつけるためには、【体】出生値による一般判定を合計 3 回成功させる必要があります。(成功回数は累積しますが、3回に達するまでPC たちは何回でも判定をしなければなりません。ただし、同じ PC が判定を何度も行うと、時間がどんどん経過していくと、プレイヤーに伝えて下さい)

この判定には全員が参加できます。(任意で判定を行わない人がいても構いません)

全員が判定を行い、3人以上が成功したなら PC たちは即座に奥へ駆けつけられます。成功したのが2人以下だった、もしくは誰かが2回目の判定をしようとした場合は時間が1段階経過し、奥から悲鳴が聞こえてきます。

同様に、誰かが3回目の判定をしようとした場合はさらに時間が経過し、奥から悲鳴が聞こえて銃声のあと途切れます。

以後はどれほど時間が経過しても変化はありません。

なお、PC たちがジュディに他の道を聞いた場合は案内してくれますが、遠回りになるために時間が1段階経過します。

また、大温室入り口(4-1)から数えて、この北エリアに3番目か4番目に到着していた場合、すでに時間が1段階経過しているとしてください。

PC たちが奥へ到着すると、木々の隙間に逃げ込んだ二人の作業員を、ハチの群れが取り囲んでいます。

ハチの中でもひとときわ体の大きい一匹が PC たちの接近に気付いて羽をふるわせると、他のハチたちが一斉に PC たちの方を向き、襲いかかってきます。

アサルトビー×5(前衛に配置)、コマンダービー×1(後衛に配置)との戦闘になります。コマンダービーが活着ている間は、ハチたちは 1 ラウンドに 1 人を集中攻撃します。(対象は毎ラウンド変わってもかまいません)

戦闘の後、二人の作業員はお礼の言葉と共に、手持ちの**ヴァイタルドリンク**を1本と、**メンタルドリンク**を 1 本渡してくれます。

もし、時間が 1 段階経過している場合は、作業員のひとりが重傷を負っています。その場合でも上記同様に 2 本のドリンクを差し出しますが、自分たちの分の回復薬は他に持っていないようです。アンビュラスが『ヒーリング』を行わなかった場合は、ハイランダ憲章を思い出させて**ヴァイタルドリンク**は辞退させるべきでしょう。

また、時間が 2 段階以上経過している場合は、作業員のひとりが死亡してしまっています。その場合はなにももらえません。

生き残った作業員からは、次のような話が聞けます。

作業員から聞ける情報

- ・数日前から緑の髪の女性が温室に来るようになった。
- ・今朝、園長とその女性が中央エリアに入って行くのを見た。
- ・クレーチャーが現れはじめたのはその直後。
- ・自分たちはハチに追われてここに隠れていたが、見つかってしまった。

ここでもジュディは園長からもらったツタを植えようとしています。

PC の誰かが、園長にももらったツタは危険だとして止めようとする、以下のようなことを言います。

ジュディ「園長はそんなひとじゃありません。あの方は、**植物園と植物たちのことをほんとうによく考えていらつしやるんです**」

「このツタと薬も、植物と作業員のみなさんを守ろうとして作られたのに違いありません」

それでも PC が止めさせようとするならば、ジュディはツタを植えるのを止めます。(※その場合は、「4-6.ツタの襲撃」へと進んでください)

PC が止めなかった場合は、ジュディはそのままツタを植えます。(通常通り、次のエリアへと進んでください)

4-5. 大温室西(西エリア)

【概要】

水辺の植物を集めたエリアです。園長のノートが落ちています。

【情景描写】

西エリアは、湿地と池や川のある場所になっていた。
ここにはどうやら、クリーチャーは侵入していないようだ。

【イベント】

ジュディ「このエリアでは、夜になると虫なども飛ぶんですよ。園長もよく見に来ているみたいですよ」

「あちらの池ではスイレンがたくさん咲くんです」

PC が周囲を調べると言ったら、**【運】**出生値による一般判定をさせてください。

成功すると、小さなノートとペンが見つかります。

ノートには様々な植物のスケッチの他、「植物とコミュニケーションを取るには」「植物同士の共感現象」などの断片的な言葉が書かれています。

ジュディに確認すると、園長の物だということがわかります。

それ以外は特になにごともなく、ジュディがツタを植えます。

4-6. ツタの襲撃

【概要】

このシーンは、次の場合に発生します。

- ・東西南北全ての網にツタを張り終えた。
- ・ジュディにツタを植えるのを止めさせた。
- ・中央エリアに侵入を試みた。

ここでツタが本性を現し、ジュディを連れ去ります。

【情景描写】

ジュディ「えっ……きゃ、きゃあ。やめてください！」

先へ進もうとしていると、不意にジュディの悲鳴が上がった。振り返ると、ジュディの体に何本ものツタが巻き付いて、持ち上げている。

PC たちが、なにをする間も無く、ツタは中央エリアへとジュディを連れ去る。その後には中央エリアへと続く穴が、網とツタの間に開いた。

【イベント】

ジュディがまだツタの苗を持っていた場合は、ジュディがうっかりそれを落としてしまい、急成長したツタに連れ去られます。

ツタを全て植えた後ならば、網に絡みついていたツタが伸びて、ジュディを連れ去りません。

いずれの場合も、ツタを止めることはできません。(ツタへの攻撃は周囲のツタが防いでしまいます)

PC たちはすぐにジュディを追いかけることも、周囲の探索を続けることもできます。
(※やりとりがひと段落したと GM が判断したら、次のシーンへ進めてください)

4-7. 大温室中央(中央エリア)

【概要】

ジェネシスである「翠緑のネフリ」と、園長のアグリオ・ヴェルフォレがいます。

ここで、モルフと化したアグリオとの最終戦闘になります。(この戦闘では、温室へのダメージ処理は発生しませんので注意してください)

【情景描写】

網とツタで覆われた中央エリアはすっかり薄暗くなっていた。地面はうごめくツタに覆われていて、歩きにくい。

ツタを踏み越えて進むと、大きなスターフルーツの木の前に園長のアグリオと長い髪をした女性が PC たちを待っていた。

【イベント】

PC たちが近づいてくると、アグリオは歓迎するように一歩前に出ます。

アグリオ「……待っていたよ、ハイランダー諸君。君たちが、我々の偉大な研究の最後の鍵だ……」

「何の研究か？ 決まっている！ 愛すべき素晴らしい植物たちを、さらに進化させる研究だ！ そう。こちらのネフリ様が授けてくださった技術で、この研究が完成する！！」

アグリオの言葉を引き取って、ネフリと呼ばれた女性が PC たちに微笑みかけます。

ネフリ「はじめまして、ハイランダーのみなさま。貴方がたが来てくださって、わたくしも嬉しいですわ」

「貴方がたならきっと、私の可愛い植物の素敵な養分になってくださるもの」

ここで、PC が【知】出生値による一般判定に成功すると、この女性が「翠緑のネフリ」と呼ばれるジェネシスであることが判明します。

PC の誰かがジュディのことを聞いたら、ネフリは木の上を指さします。

ネフリ「あの娘ならあそこに。ふふ。あんな娘でも、可愛いツタたちの養分としての使い道くらいはありましてよ」

木の上にはジュディがツタに絡まれて意識を失っていますが、怪我はなさそうです。

一通り PC たちと話した後、ネフリは「そろそろ」と言ってアグリオの方を向きます。

ネフリ「いつまでもお話していただませんかものね。名残惜しいですけども、始めましょう」
「しなやかなツタを伸ばして姿を現しなさい。私のジュエルシード」

ネフリが呼びかけると、アグリオの肌を突き破って何本ものツタが生えてきます。

アグリオ「おお、これが———これこそが植物の真の力……私は今こそ、植物と一体に！」

喜び感動するアグリオの体はツタごと背後のスターフルーツの木と融合し、木が動き出します。それを見とどけて、満足したようにネフリは姿を消します。

ここから**アグリオとソーンヴァイン×2(共に前衛に配置)、アサルトビー×4(後衛に配置)**との戦闘になります。(なお、この戦闘では「温室へのダメージ処理」は発生しないことをPCたちに伝えて下さい)

アグリオは戦闘開始直後に、《メイキング・ショット》を使用しショットを作成します。

1ターン目は《ブースト・パワー》を使用し、クリーチャー3体までの攻撃を+3します。

2ターン目以降は、《バラージ》による攻撃を相手の前列(前衛全体)または、後列(後衛全体)に行います。

攻撃が外れそうになった場合は、《エクリプス・コード》を使用して成功率を高めめます。

戦闘終了後、木に融合したアグリオは、剥がれ落ちるように崩れていきます。

アグリオ「なぜだ、なぜ偉大なる植物の糧にならない……？ おまえたちは……人間などは植物の為に、全て、あの方が……」

アグリオが消滅すると木もまたぼろぼろに崩れ、捕らえられていたジュディも落ちてきます。

PCたちはまだ目覚めないジュディをつれて、事務所へと戻ります。

5. 大温室管理棟内事務室(エンディング)

【概要】

目を覚ましたジュディから、感謝と共に謝礼を受け取ります。

【情景描写】

事務室へ戻るとジュディが目を覚まします。

ジュディ「ここは……、私はどうして…？」

「あっ……。園長はどうなったんですか？ あの女の人は？」

【イベント】

PC たちが事情を説明すると、ジュディは泣き崩れます。

ジュディ「まさか——園長がモルフになっていたなんて……」

「きっと、植物たちを愛するあまりだったのだと思います。……止めていただいて、植物園を救って頂いて、ありがとうございました」

ジュディはお礼を言うと、PC たちに約束の謝礼金を渡します。(もちろん、温室の修理費は差し引かれます)

また、課題であるマドラの実の収穫と精製も手伝ってくれます。

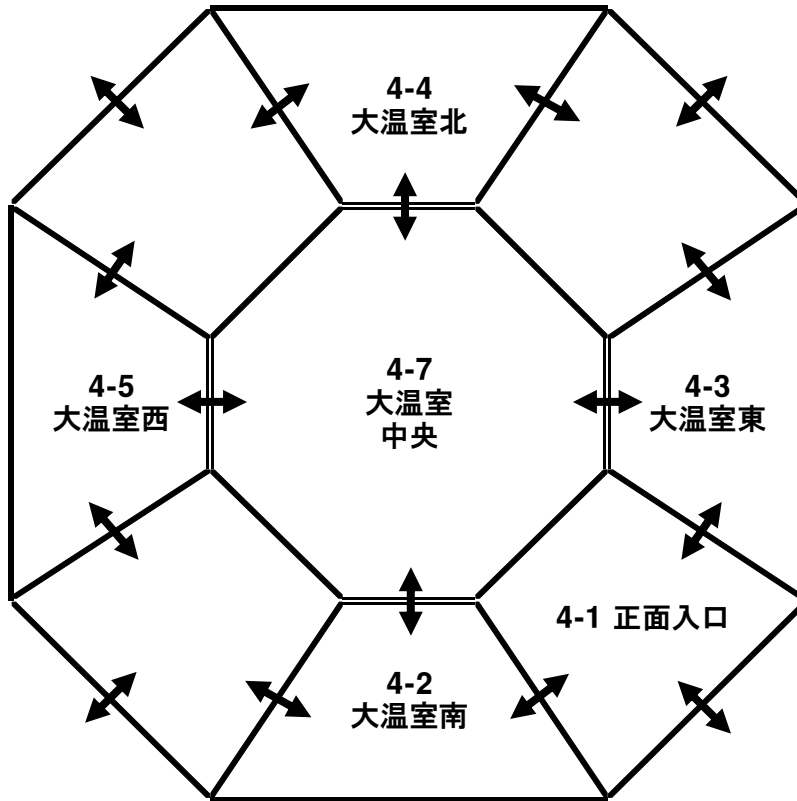
PC たちは報酬とは別に、課題の成果としてマドラの実配合の薬、ライフストリームまたはメンタルストリームを各自 1 本入手します。

後日、ジュディから PC たちへと手紙が届きます。

そこには、植物園を救ってくれたことへの重ねての感謝の気持ちと、今度、ジュディがアグリオの後を継いで、植物園の園長に就任するという報告が書かれていました。

GM は、各 PC に経験点300を配布して、ゲームを終了してください。

【クリマタリア中央植物園 大温室地図】



クリマタリア
中央植物園
大温室管理棟

広大なクリマタリア植物園の中でも、特に目を引くのが、この八角形の巨大な建物である大温室であろう。

このガラスをふんだんに使った、美しい建物自体を観に来る者も多い。

外からの入口は4つあり、管理棟から近い入口が便宜上正面入口となっているが大温室中央から、それぞれのテーマによって分けられた、四方の温室へと移動する事もできる。

各温室には、様々な珍しい植物があるが、特に南の温室にある「マドラの樹木」の実には、強い回復効果のある成分が含まれていることもあり、人気が高い。

■クリーチャーデータ

クリーチャー名	アサルトビー		LV	1 (強化LV: -)	
行動値	10	防御	2	HP	28
弱点属性	火				
回避	白兵回避	8 %	射撃回避	12 %	
攻撃データ					
攻撃①	射撃 [遠距離]	命中	76 %	ダメージ	2D6
備考					
(攻撃②)		命中	%	ダメージ	D6
備考					
クリーチャースキル等					
なし					
解説					
体長30cmほどのハチ型クリーチャーで、毒針の代わりに銃をそなえています。コマンダービーと同時に出現した場合は、そのコントロールに従って、集団でひとつの対象を攻撃してくる習性があります。					

クリーチャー名	コマンダービー		LV	2 (強化LV: -)	
行動値	6	防御	3	HP	68
弱点属性	火				
回避	白兵回避	8 %	射撃回避	9 %	
攻撃データ					
攻撃①	射撃 [遠距離]	命中	75 %	ダメージ	2D6 +3
備考					
(攻撃②)		命中	%	ダメージ	D6
備考					
クリーチャースキル等					
なし					
解説					
アサルトビーを率いる群れのリーダーです。アサルトビーよりも一回り大きく、群れ全体をコントロールする能力を持っています。					

クリーチャー名	ソーンヴァイン		LV	2 (強化LV:)	
行動値	6	防御	4	HP	108
弱点属性	風				
回避	白兵回避	9 %	射撃回避	5 %	
攻撃データ					
攻撃①	白兵 [距離]	命中	76 %	ダメージ	2D6 +8
備考					
(攻撃②)		命中	%	ダメージ	D6
備考					
クリーチャースキル等					
なし					
解説					
うごめくツタが絡まり合って、ボールのような形で動き出したクリーチャーです。先端に鋭く長いゲの付いたツタを素早く振り回し、攻撃してきます。					

■モルフデータ

名前		アグリオ・ヴォルフオレ			LV	2
シークエンス		サジタリア			x	アンビュラス
出生値	【体】	5	【知】	8	【速】	13
行動値	15	防御	3	弱点属性		風
回避	白兵回避		8	%	射撃回避	9 %
HP	340					
MP	42					
変質ポイント分装備		防護ベスト、クロムチェーン、スタリオン				
攻撃データ						
攻撃①	射撃	[遠距離]	命中	39	%	ダメージ
備考	《パラージ》による攻撃。前列(前衛全体)または後列(後衛全体)に攻撃可能					
(攻撃②)			命中		%	ダメージ
備考						
アーツ						
アーツ名	LV	種別	コスト	効果等		
ヴァイタルインクリース	3	PE	0	HPに+300。計算済		
コンバージョン	1	IN	0	ダメージの固定値を3につき1Dに変換 計算済		
スワップ	1	IN	0	1D100ダイスの1の位と10の位を好きに選べる		
インセイン	1	PE	0	5ラウンド目より自ターン中2回行動になる またターン開始直前にMPが最大値まで回復		
エクリプス・コード	1	IN	0	対象の行う(行った)判定の成功率+10% 1シナリオ3回まで使用可能		
パラージ	1	IN	0	次のあなたの攻撃対象を列にする 1ラウンドに1回使用可能		
メイキング・ショット	1	IN	1	命中+0%・攻撃力+4のショットを作成 計算済		
ショット・エンハンス	1	PE	0	ショット使用时、射撃命中に+2%。計算済		
スフィア・アンビュラス	2	IN	X	アンビュラスアーツの対象を3体まで拡大		
ブースト・パワー	1	AC	3	戦闘終了まで対象の攻撃に+3 1対象に1回まで使用可能		
デトックス	1	PE	0	各ラウンド終了時、あなたのパッドステータスを 1種類打ち消す		
解説						
<p>クリマタリア中央植物園の園長。 植物愛が高じて「翠緑のネフリ」につけ込まれ、人間やハイランダーを養分として 植物に意志を持たせる研究のため、PCたちをおびき寄せた。</p>						